HTP－1.5A 形
HTP－ 3 A 形
高圧テストプローブ
取 扱 説 明 書
（第２版）

危 険 － 高電圧 －

- 本器は高電圧を扱います。
- 操作を誤ると重大な事故の危険があります。
- 事故防止のため必ず御使用になられている耐圧試験器，及び本器の「取り扱い上の注意」をお読み下さい。
- この取扱説明書は，作業者がいつでも読めるよう本器の近くに備えて下さい。

菊水電子工業株式会社

894858

***** 作業管理者へのお願い *****

- 作業者が日本語を理解できない場合には，取扱説明書を適切な言語に翻訳して下さい。

- 作業者には，必ずこの取扱説明書の内容を理解させてから，作業にあたらせて下さい。

- この取扱説明書は作業者がいつでも読めるよう本器の近くに備えて下さい。

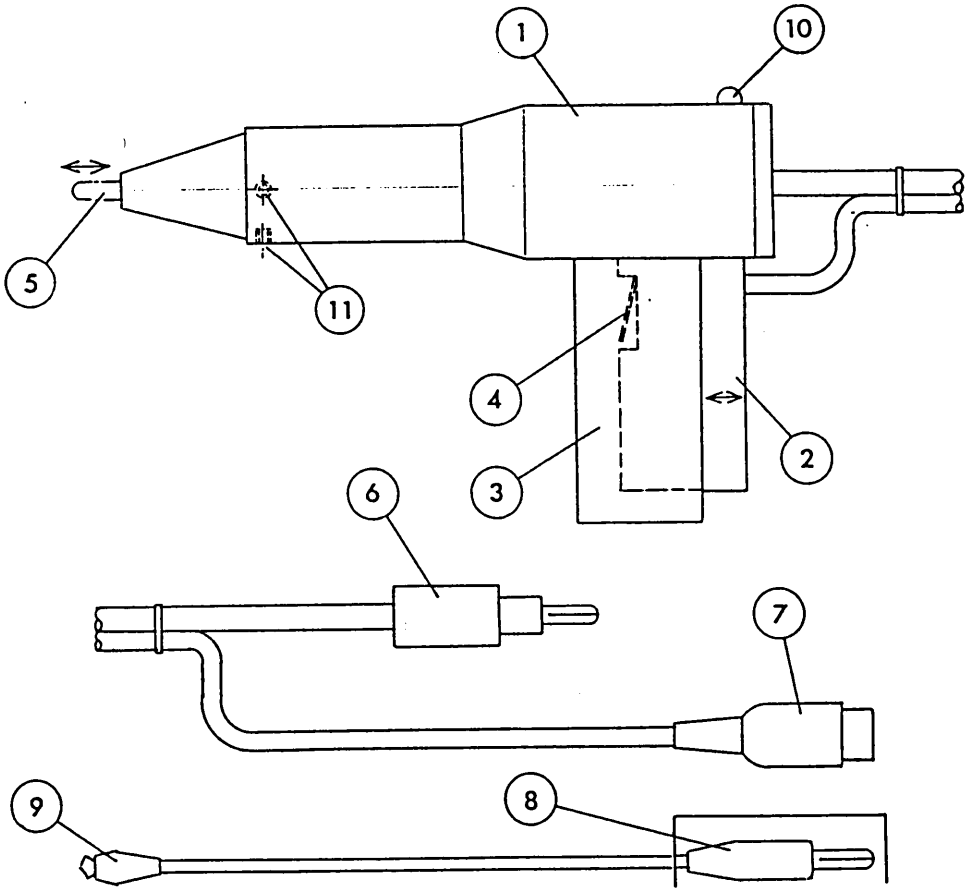
8948660

使　用　法

□　各部の説明

図１のグリップ ③ を握ることにより，初めてテストスイッチ ④ を押せるようになり，不用意に試験電圧が出力されないように考慮されています。テストスイッチ ④ を押すのを止めると，耐圧試験器は強制リセットとなり出力が遮断されます。

なお，本器の最大使用電圧は５kV です。 必ず，５kV 以下で使用して下さい。



① 本　体
② スライドバー
③ グリップ
④ テストスイッチ
⑤ 接触ピン
⑥ コネクタ（高圧用）
⑦ コネクタ（リモートコントロール用）
⑧ コネクタ（グランド用）
⑨ ワニグチ（グランド用）
⑩ 発光ダイオード
⑪ セットビス

図１

8948861A

□ 接 続 法

本器（ＨＴＰ－１．５Ａ形／ＨＴＰ－３Ａ形）と耐圧試験器の接続の際，耐圧試験器の電源が遮断しているのを確認し，その後図２のように確実に接続して下さい。リモートコントロールソケットにコネクタ ⑦ を挿入することにより，耐圧試験器はパネル操作からリモート操作に内部で切り換り，パネル上のテストボタンは利かなくなります。

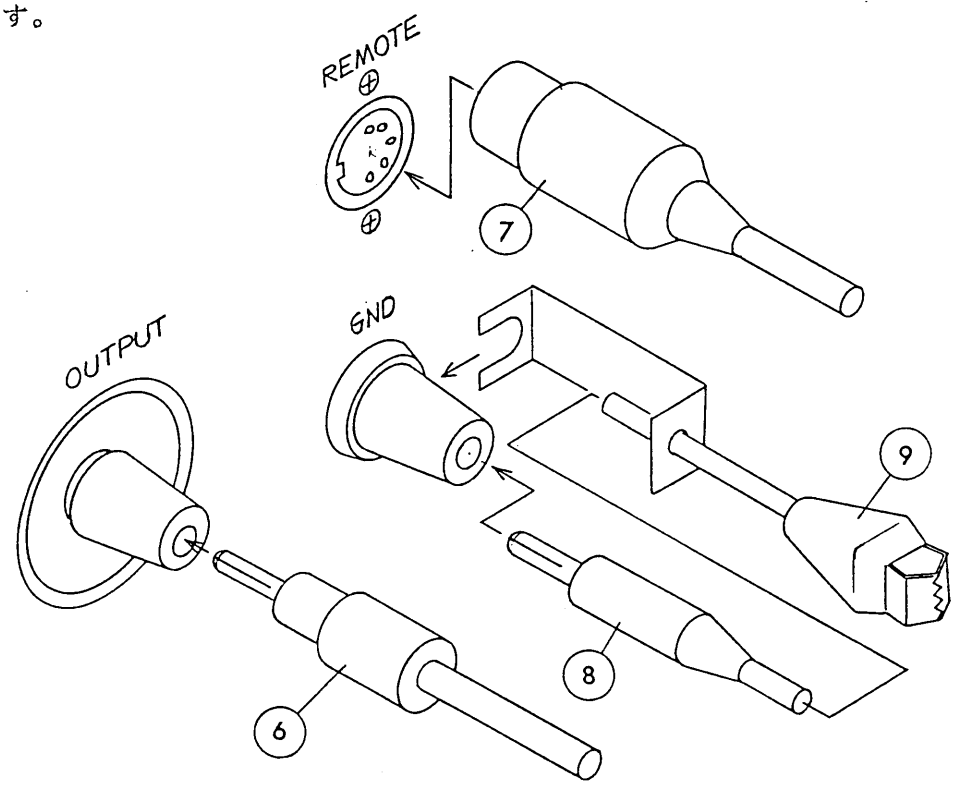


図２

被測定物のグランド側にワニグチ ⑨ を必ずつないで下さい。本器のクリップ ③ とスライドバー ② を握ると，本体 ① の先端より接触ピン ⑤ が出てきます。この接触ピンを被測定物にあて，テストスイッチ ④ を押すと試験電圧が出力され試験ができます。握る力を弱めると，接触ピンが本体 ① に引っ込み，テストスイッチも押すことができなくなり，耐圧試験器は強制リセットされ，接触ピンの出力電圧は遮断されます。また NG 警報も解除されます。（耐圧試験器の機種によっては，NG 警報を解除しないモードをもつものがあります。） なお，発光ダイオード ⑩ は，本器によりコントロールされている耐圧試験器がテストオン状態で点灯します。

注意　接触ピン本体より押し出したときは，テストスイッチを押していなくても絶対に接触ピンに触れないで下さい。

接触ピン交換方法

付属の六角スパナでセットビス ⑪ をゆるめ，本体先端部を外します。内部にネジ込んである接触ピン ⑤ を外します。（交換接触ピンは別売になります。）

8948662

□ 操作手順

1) 2ページの接続法に従って，本器を耐圧試験器に接続します。

2) きき手で，グリップ ③ を持ちます。まだ握ってはいけません。きき手でない方の手は，テストプローブ本体や被試験物に近づけないようにして下さい。

3) 被試験物にテストプローブの先端をあてます。グリップ ③ を握り，スライドバー ② をスライドさせて，テストプローブ先端より接触ピン ⑤ を露出させます。
このとき，テストスイッチ ④ を同時に押してしまわないよう注意して下さい。

4) 接触ピン ⑤ を被試験物の試験ポイントにあて，テストスイッチ ④ を押します。これにより試験が開始されます。試験中は接触ピン ⑤ を被試験物から離してはいけません。

5) 試験終了後(試験を中断する場合も含みます)，テストスイッチ ④ から指を離します。まだ，グリップ ③ を握る手をゆるめたり，テストプローブを被試験物から離してはいけません。

6) テストプローブ上の発光ダイオード ⑩ が，消えている事を確認します。

7) グリップ ③ を握る手をゆるめ，接触ピン ⑤ を収納します。
その後，テストプローブを被試験物から離して下さい。

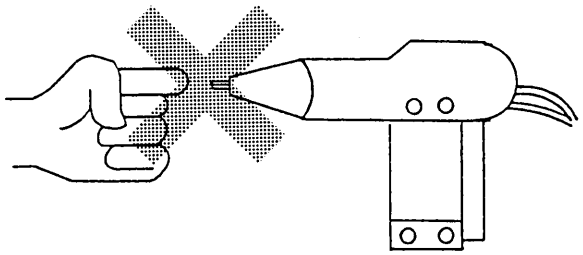
(これで手順 2) の状態にもどりましたので，この状態のまま次の被試験物にむかい手順 3) よりくり返して下さい。)

◎ 全ての試験が終了後は，耐圧試験器の電源スイッチを OFF にして下さい。

9023368

取り扱い上の注意

1．接触ピン ⑤ には絶対にさわらないで下さい。



2．試験中，身体の一部，特にテストプローブを持っていない方の手などが被試験物や作業台などに触れないように注意して下さい。

3．接触ピン ⑤ は，試験中以外は，露出させないで下さい。

4．テストプローブ本体をふり回したりしないで下さい。

5．テストプローブに接続されているケーブルをひっぱったり，折り曲げたりしないで下さい。

6．本器は，スライドバー ② とグリップ ③ を手で持ち，人さし指でテストスイッチ④を押して，使用する事を前程として作られています。テストスイッチを小指で操作したり，本体 ① の部分をつかんで使用するなどの異常な持ち方はやめて下さい。

7．試験開始時，次の順に操作して下さい。

1) テストプローブの接触ピン ⑤ を被試験物にあてる。

2) テストプローブのテストスイッチ ④ を ON する。

この順番以外の操作をした場合，即ち接触ピン ⑤ に高電圧が印加されたままの状態で被試験物と接続した場合，被試験物を破損することがあります。

また，上記 1)，2) の順番以外の操作は危険です。必ず 1)，2) の順で操作して下さい。

9023369

8．試験終了時，次の順に操作して下さい。

1） テストプローブのテストスイッチ ④ を OFF する。

2） テストプローブ上の発光ダイオード ⑩ が消えてからテストプローブの接触ピン ⑤ を被試験物より離す。

この順番以外の操作をした場合，即ち接触ピン ⑤ に高電圧が出力されたままの状態で被試験物との接続が切られた場合，被試験物を破損することがあります。

また上記 1），2）の順番以外の操作は危険です。 必ず 1），2）の順で操作して下さい。

9．

本器は必ずリモートコントロールコネクタ ⑦ を接続して御使用下さい。 リモートコントロールコネクタ ⑦ を接続せずに耐圧試験器のテスト・リセットボタンで試験を行うと感電して危険です。

902370